

松山市産両生類目録（第 2 版）

岡山健仁¹・宇和 孝²・田辺真吾³

¹〒791-1710 上浮穴郡久万高原町若山 650-1 面河山岳博物館 (E-mail: okayama-takehito@kumakogen.jp)

²〒791-1136 松山市上野町甲 808-26

³〒615-8821 京都市西京区上桂東ノ口町 105

Takehito OKAYAMA¹, Takashi UWA², and Shingo TANABE³ (2012) List of species of Amphibians in Matsuyama City, Ehime Prefecture, Shikoku, Japan. 2nd version. pp. 25-28. In: Committee for Surveys of Natural Environment of Matsuyama City (Chief Editor: Kazuo ISHIKAWA) (ed.) Checklist of the Wild Animals, Fungi, and Plants of Matsuyama City, 2012. Published by the Department of Environment, Matsuyama City, 404 pp. (¹Omogo Mountain Museum, Kamiukena-gun Kumakogen-cho Wakayama 650-1 Ehime, 791-1710 Japan; ²Ueno-cho kou 808-26, Matsuyama City, 791-1136 Japan; ³Higashinokuchi-cho 105 Kamikatsura Nishikyō-ku Kyoto City, 615-8221 Japan)

Abstract — As the second version of species list of Amphibians (Caudata, Anura) of Matsuyama City, Ehime Prefecture, Shikoku, Japan, originally published in 2002, this report presents full list of opilionid species so far recorded from the area of the city. The list consists of a total of 14 opilionid species belonging to 7 families.

本リストは、2002 年発行の「松山市野生動物植物目録 2002」に掲載された両生類の種リスト（岡山 2002）の改訂第 2 版である。今回、松山市産として記録される両生類は 7 科 14 種（前回リストから増減はなし）である。

凡 例

1. 種の分類学的配列および学名・和名は日本爬虫両棲類学会編（2009）『日本産爬虫両生類標準和名』に従った。
2. 採集データは地名（成体または幼生の別、個体数、採集年月日、採集者名）で表記した。
3. 【既知】は既知記録。

Amphibia Gray, 1825 両生綱

Caudata Scopoli, 1777 有尾目

Hynobiidae Cope, 1860 サンショウウオ科

1. *Hynobius hirosei* Lantz, 1931 イシヅチサンショウウオ。北三方ヶ森(成体 2, 幼生 1, 1988.12.23, 岡山健仁); 福見山(幼生 4, 1994.12.3, 岡山健仁); 明神ヶ森(幼生 3, 1994.12.3, 岡山健仁)。【既知】大井野町福見川源流～福見山(愛媛県編 1992a); (松山市編 1993); (岡山 1995); 明神ヶ森(森川 1979a); (森川 1979b); (岡山 1995); 久谷町蘗川(八木 1966a); (八木 1966b); (森川 1979b); (愛媛県編 1992b); 北三方ヶ森(田辺・岡山 1990); 松山市南方の低山(山本・森川 1982)。【備考】従来は、オオダイガハラサンショウウオ *H. boulengeri* とされていた

が、近年の研究の結果、四国産のものは独立種、イシヅチサンショウウオとされた。環境省準絶滅危惧 (NT)。松山市絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。

Cryptobranchidae Fitzinger, 1826

オオサンショウウオ科

2. *Andrias japonicus* (Temminck, 1836) オオサンショウウオ。【既知】石手川(佐藤 1943); (森川 1975); (森川 1979); (山本・森川 1982); (松山市編 1993)。【備考】本市における過去の記録は、飼育個体が逃亡したものである。国の特別天然記念物指定。ワシントン条約附属書 I 類掲載。環境省準絶滅危惧 II 類 (VU)。

Salamandridae Goldfuss, 1820 イモリ科

3. *Cynops pyrrhogaster* (Boie, 1826) アカハライモリ。【既知】松山市(佐藤 1943); 石手(愛媛県立博物館編 1978); 杉立(楠編 1994a)。【備考】環境省準絶滅危惧 (NT)。松山市絶滅危惧 II 類 (VU)。

Anura Fischer von Waldheim, 1831 無尾目

Bufo Gray, 1825 ヒキガエル科

4. *Bufo japonicus japonicus* Temminck et Schlegel, 1838 ニホンヒキガエル。【既知】松山城(松山市編 1993); (宇和・田辺・岡山 2004); 松山市(松井 1987); 堀之内(西岡 1960); 杉立(楠編 1994a); 興居島(宇和・田辺・岡山 2004)。【備考】松山市絶滅危惧 I 類 (CR+EN)。

Hylidae Rafinesque, 1815 アマガエル科
 5. *Hyla japonica* Günther, 1859 ニホンアマガエル.
 【既知】松山市(岡田 1930);(藤島 2001);杉立(楠編 1994a);石手川ダム周辺(楠編 1994b),河口大橋(国土交通省 2000),河口大橋(国土交通省 2005).

Ranidae Rafinesque, 1814 アカガエル科
 6. *Rana catesbeiana* Shaw, 1802 ウシガエル. 【既知】松山市(松山市編 1993);(宇和・田辺・岡山 2004);杉立(楠編 1994a);石手川ダム周辺(楠編 1994b);高井町日下泉(重信川ビオトープネットワーク研究会編 2000),河口大橋(国土交通省 1995),河口大橋(国土交通省 2000),河口大橋(国土交通省 2005).

7. *Rana tagoi tagoi* Okada, 1928 タゴガエル. 【既知】高縄山(松山市編 1993).

8. *Rana rugosa* Temminck et Schlegel, 1838 ツチガエル. 西野町(亜成体 1.1999.9.13, 岡山健仁). 【既知】松山市(岡田 1930);(松山市編 1993);(宇和・田辺・岡山 2004);杉立(楠編 1994a);石手川ダム周辺(楠編 1994b).

9. *Rana nigromaculata* Hallowell, 1861 トノサマガエル. 【既知】松山市(松山市編 1993);(岡田 1930);(藤島 2001). 【備考】環境省準絶滅危惧(NI). 松山市絶滅危惧 I 類(CR+EN).

10. *Rana japonica* Boulenger, 1879 ニホンアカガエル. 【既知】松山市(岡田 1930);(宇和・田辺・岡山 2004). 【備考】環境省絶滅危惧 II 類(VU).

11. *Rana ornativentris* Werrerr, 1903 ヤマアカガエル.
 【既知】松山市(松山市編 1993);湯山音田谷(愛媛県立博物館編 1978);菅沢町(宇和・田辺・岡山 2004). 【備考】松山市絶滅危惧 II 類(VU).

12. *Fejervarya limnocharis* (Gravenhorst, 1829) スマガエル. 【既知】松山市(岡田 1930);(松山市編 1993),河口大橋(国土交通省 1995),河口大橋(国土交通省 2000),河口大橋(国土交通省 2005).

Rhacophoridae Hoffman, 1932 アオガエル科
 13. *Rhacophorus schlegelii* (Günther, 1859) シュレーゲルアオガエル. 【既知】高縄山高縄寺(愛媛県編 1992);(松山市編 1993);杉立(楠編 1994a);石手川ダム周辺(楠編 1994b);松山市(宇和・田辺・岡山 2004);畑寺(愛媛新聞 1993.8.19). 【備考】松山市準絶滅危惧(NI).

14. *Buergeria buergeri* (Temminck et Schlegel, 1838) カジカガエル. 【既知】石手川上流(松山市編 1993);杉立(楠編 1994a);石手川ダム周辺(楠編 1994b);松山市(宇和・田辺・岡山 2004). 【備考】松山市絶滅危惧 I 類(CR+EN).

謝 辞

日頃からお世話になっている方および今回貴

重な生息情報の提供をいただいた次の方にお礼申し上げる次第である(敬称略):市原眞一、太田英利、岡田純、楠博幸、戸田守、西川完途、松井正文。

文 献

- 愛媛県編(1992a)奥道後玉川県立自然公園ガイドブック. 30pp.
 愛媛県編(1992b)皿ヶ嶺連峰県立自然公園ガイドブック. 30pp.
 愛媛県立博物館編(1978)愛媛県内公私立博物館所蔵愛媛県博物館資料総合目録第1集自然史部門. 75pp.
 愛媛県貴重野生動物検討委員会編(2003)愛媛県レッドデータブック—愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物. 447pp. 愛媛県, 愛媛.
 藤島弘純(2001)水田の生き物. 藤島弘純編「重信川の自然」. 214pp. 創風社出版, 愛媛.
 国土交通省(1995)平成7年度重信川水系重信川両生類・爬虫類・哺乳類調査報告書, 河川環境データベース(河川水辺の国勢調査). (http://www3.river.go.jp/index_seibutu.htm) (アクセス日: 2012年2月28日).
 国土交通省(2000)平成12年度重信川小動物調査業務, 河川環境データベース(河川水辺の国勢調査). (http://www3.river.go.jp/index_seibutu.htm) (アクセス日: 2012年2月28日).
 国土交通省(2005)平成17年度重信川小動物調査業務委託, 河川環境データベース(河川水辺の国勢調査). (http://www3.river.go.jp/index_seibutu.htm) (アクセス日: 2012年2月28日).
 楠博幸編(1994a)蝶と花 38, 郷土に自然をつくる会, 45pp.
 楠博幸編(1994b)蝶と花 39, 郷土に自然をつくる会, 33pp.
 松山市編(1993)松山市史. 第1巻, 二 動物. 267-303.
 まつやま自然環境調査会編(2002a)レッドデータブックまつやま2002—松山市における絶滅のおそれのある野生生物. 246pp. 松山市, 愛媛.
 まつやま自然環境調査会編(2002b)松山市野生動物目録2002. 270pp. 松山市, 愛媛.
 松井正文(1987)繁殖の地理的変異とその要因. 19-31. 浦野明央・石原勝敏(編)ヒキガエルの生物学. 裳華房, 東京.
 森川国康(1975a)特別天然記念物オオサンショウウオの四国地方における分布. 愛媛の自然, 17(8): 11-13.
 森川国康(1975b)特別天然記念物オオサンショウウオの四国地方における分布・追記. 愛媛の自然, 17(12): 11.
 森川国康(1979a)第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(両生類・は虫類)愛媛県. 29pp. 環境庁, 東京.
 森川国康(1979b)オオダイガハラサンショウウオ. 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版. 100-101. 環境庁, 東京.
 村上裕(2006)愛媛県におけるトノサマガエルとスマ

- ガエルの分布傾向.平成 18 年度愛媛衛環研年報,9:
38-41.
- Nishikawa,K., M.Matsui,S. Tanabe, and
S.Sato(2007)Morphological and Allozymeic
variation in *Hynobius boulengeri* and *H. stejnegeri*
(Amphibia:Urodela:Hynobiidae)
ZoologicalScience, 24:752-766.
- 西岡忠良(1960)ヒキガエルの産卵.愛媛の自然
2(2),22-23.
- 岡田弥一郎(1930)日本産蛙総説. ii + 234pp・、29pls.
岩波書店,東京.
- 岡山健仁(1995)愛媛県におけるオオダイガハラサン
ショウウオの新産地Ⅱ. 南予生物,8(1・2) : 18-19.
- 佐藤井岐雄(1943)日本産有尾類総説. ii + iii + x vi
+ 520+131pls.日本出版社,大阪.
- 重信川ビオトープネットワーク研究会編(2000)泉～
その未来にむけて. 重信川ビオトープネットワー
ク調査報告書.135pp,(社)四国建設弘済会,香川.
- 田辺真吾・岡山健仁(1990)愛媛県におけるオオダイ
ガハラサンショウウオの新産地.南予生物,5(1・2) :
4.
- 宇和孝・田辺真吾・岡山健仁(2004)愛媛県の爬虫類・
両生類.平成 16 年度日本生物教育会第 59 回全国大
会愛媛県大会記念誌「愛媛の生物誌」,22-34.
- 八木繁一(1966a)大久保の自然.愛媛自然科学教
室,1-14.
- 八木繁一(1966b)植樹祭の行われた温泉郡久谷村大久
保.愛媛の自然 8(5).愛媛自然科学教室.4-5.
- 山本栄治・森川国康(1982)爬虫類と両生類. 新愛媛風
土記刊行会編「新愛媛風土記」. 240-242. 創土社,東
京.

